對策樹立の要に迫ら

世はれ、は必然の

行い世く内

次官會議

し議會においても

價昂騰問題

述べたる通一宣言が

におけ

に終始してゐるのは極めて遺してはその片鱗さへ認められず!

「「「「「「「「「「「」」」」」。

が正々堂々 の態度に終 るもので徐

に終始を要

閣議に提案が

小川兩相會見注目さる

職検討したが、大脳省の態度 心に左の如き具體的對策を協 心に左の如き具體的對策を協

は各方面から注目されてる大脳、商工兩當局

り人類の福祉を滑進するによるし、國際正義の確立に上をつて世界平和に貢獻すると来近の安定を確保し、よつて

れが實現のため

五月の特別議會におい

黨大會の宣言

に

とは余の光榮とすると略を陳述するの機會を陳述するの機會を

處女舞臺に 開 く第七十

井上洋服店

7

議會

渡邊千冬、櫻內幸雄、濱田國松氏起

衆兩院質問

と成帝除的のわる交多置な大れ、の八起こはこよ印期内の將年年成の電流等、の當油等家る立國 を可國く間でがべ調大はら第を調出日しと不れりに方手間に十有立試者石交梁田に國作進の、ずの 希く政の題あ方し整の日びで繼印漁暫折に斷が北應を續際調一牛し掘代油砂者試付壞年寸解密る方 望速府外につよとに貢滿にあ續にに定面付に行洋ゼ申未に印月に、期表間を代掘交割中る決國に針 すかに意ってりの益献、別るし關は取し再存使漁ざ出了いせ中わま限と題援表延涉定漁所が政あが

相の演説

氏先陣を承り、政友會を代表して聴將獲田國松氏が織いて起ち、いづれも現內閣の內治外交一般の成績に對し痛烈な批判を加へることになつてさらに馬場滅相からも財政方針について約卅分にわたる演説があり、これを終つてから各派代表の質問に移り第一黨たる民政黨元商相櫻内幸雄首相登壇、約卅分にわたり內外一般の施政演説をなし、これに織いて有田外相の外交方針に闘する演説あり、質問第一陣渡邊千多子が研究會代首相登壇、約卅分にわたり內外一般の施政演説をなし、これに織いて有田外相の外交方針に闘する演説あり、質問第一陣渡邊千多子が研究會代內外超非常時の眞ツ只中に今や相應しいはり切り方で参集、午前十時貴族院は本會議を閉舎の如くまづ政府の施政方針を明かにすべく廣田、外相の演説があり、変問第一時渡邊千多子が研究會代東京國通】獲臘來の休會も終り第七十讓會はいよいと偉容なつた白墨新裝の議事堂に、翻飜とひるがへる日章族のもとにこゝにはじめて國政、東京國通】獲臘來の休會も終り第七十讓會はいよいと偉容なつた白墨新裝の議事堂に、翻飜とひるがへる日章族のもとにこゝにはじめて國政 細 濱田の諸氏)

「東京國通」貴族院開會十 「東京國通」貴族院開會十 一方國內外の情勢を考へるに、 一方國內外の情勢を考へるに、 一方國內外の情勢を考へるに、 一方國內外の情勢を考へるに、 一方國內外の情勢を考へるに、 一方國內外の情勢を考へるに、

り、帝國政府は益々日滿中國 ・ 本の ・ まの ・ 本の ・ もの ・ 本の ・ 、 ・ 本の ・

大第である 次第である 大場であることは慶賀に堪へぬ 大場であることは慶賀に堪へぬ 大場であることは慶賀に堪へぬ 大場であることは慶賀に堪へぬ 大場であることは慶賀に堪へぬ 都事件の殺生を見、引題なるを記して居つたところ、昨年のもとに調整を期せるの重要なるを期かれているとのでは、

徹底

(天津廿一日設國通) 来津中の宋哲元氏は廿日夜九時同志に告ぐるの書を發表したが、大要左の如くである一、國家の統一を擁護し中央の政令を遂行して自力自强をはかる一、國家の三大要素たる主權一、國家の三大要素たる主權の共進主義はもとより中國に適合せざるは衆庶の知るところなるも土匪は屢々こ 宋哲元氏施士

型 の主義をかざして民衆を煽いたした、なほ廿日北平より陳 にした、なほ廿日北平より陳 にした、なられてゐる秘書長何定遊 に乗りを表表して民衆を煽いた。

方針

るかまました。 知符は外れて… 期待は外れて… 期待は外れて… 期待は外れて… 取、民廟薫大會の宣言に懐 取、民廟薫大會の宣言に懐 型川不満の重表明。先づ暴力 地元館を整べて関郡は建園 でと 着神再閣職に大置、との園の

その日はからからいます。というなが表彰されてみでは

松、翠

無工要はこうの本る活で要す。

「選挙と高の国力のではの関する。

「選挙と高の国力ので、

「選挙と高の国力ので、

「選挙と高の国力ので、

「選挙との、

「選挙を関する。

「選挙を表示。

「選挙を表示。

「選挙を関する。

「選挙を表示。

「表述を表示。

「表述を表述を表示。

「表述を表示。

「表述を表

首相

演

要旨

展の非理ない。 一般のに過ぎない。 一般のであるが、 一般のである。 一でのであるが、 一般ののであるが、 一般ののであるが、 一般ののであるが、 一般ののでは、 には、 には、 こことが、 一般のでは、 には、 でいて、 一般ののでは、 でいて、 一般ののであるが、 一般ののであるが、 一般のので、 一般のので、 一般のので、 一般のので、 一般ので、 一般のので、 一般のので、 一般のので、 一般ので、 一般のので、 一般のので、 一般のので、 一般のので、 一般ので、 一ので、 一ので、

お、、感激の

十二八日間

一十二八日間

一十二十日間

一十二十二十日

一十二十二十日

一十二十二十日

一十二十日

一十二十二十日

一十二十二十日

一十二十二十日

一十二十日

一

東 第一日滿負、第二日も滿員 第三日も、第四日もと、組織 第三日も、第四日もと、組織 でにあつたららか、これ程の でにあつたららか、これ程の のオリンピックにみられたで あらうか、スポーツの宮様と

(=)

元節建 總領事館、満鐵、市公署で 最も有意義に擧行

神を再認識すると共に世 年辰々乎として日星の如 年辰々乎として日星の如 滿鐵、 代辨業に

二月一年二十利昭

同主催にて最も有意義にについては例年各機關合については例年各機關合

の三者が主催して記念式の三者が主催して記念式 新京特別市 減緩事務局、新京特別市

會等を認行

同業組合聯合會

入し前にも純T

ことを自白して

中銀俱

樂部で

タ合

設立具体化

各種同業組合續々

畜々準備 宴、講演

【東京國通】二十日の民政黨 大會において町田總裁は 大會において町田總裁は 大會において町田總裁は 大会と政府の一般施政を精論、決 りの不當を責めた後對支外交 について左の如く演説した 帝國外交の現狀に關しては 一般が黨に政府に進へない を政府の一般施政を縮論、決 を政府の一般施政を編論、決 を政府の一般施政を編論、決 を政府の一般施政を編論、決 を政府の一般施政を編論、決 を政府の一般施政を編論、決 を政府の一般施政を編論、決 を政府の一般施政を編論、決 を政府の一般施政を編論、決 を政府の一般施政を編論、決 を について左の如く演説した 一般が黨に政府に進言するに

演

月から 重取調べたところ山東省生れ な合金の傷せ物でこれを質店 や素人に本物として高價に費 つてみたことを自白したが費 刑事が警戒中擧動不審の滿人 てゐるのを發見本署に引致嚴が地金や金指環を多數所持し

金

た滿州火災保険協會副會長加二十日鎮京で創立總會を開い 火保協會幹 挨拶に來社

日本室で開催 三日午後二時 趣味部主催の

のカルタ會が二十

| 藤徳善。イ・エム・バートン、 一金三萬九千二百四十九個也 一金三萬九千二百四十九個也 一金四千四百二十圓〇五錢也 前期線越金 高八千九十七圓 一金五千圓也 然定額立金一金五千圓也 別途積立金 排上準備積立金

一金五千圓也

事の用意もあった。 一覧打ち、三、原本の用意もあった。 困組合品

中銀編輯室

新京醫院内科へ遠陽から着任した杉田敬義氏は二十一日挨 一金貳千八百圓也 配當金年二割 配當金年二割

特別市理髮業者

金豐千參百圓

烹

七路

R

書送付せられたし

新

鹰

新京特別市理髪業組合では役 員選舉を行つた結果左の如く

右の

で通り候は

福信金融株式會社

どうぞ御贔屓 本年も相

變ら

新役員決定

本傳、橫田林三郎、河合澄相談役川崎貞夫、評議員鈴相談役川崎貞夫、評議員鈴西堤富吉、會計小田原正雄祖合長松谷久吉、副組合長

相談名と「相談名」「本傳、橋田林三島本傳、橋田林三島本傳、橋田林三島本傳、岡村賞、岡村賞、

市内目拔の場所

飲食店譲る

目下盛業中なれど歸國の爲急讓り度

た出ら

萬障御

御問合せ電(2)二〇九七番

新煙草

現出

特別市旅館下宿

五編(五パット)が出ま した氣候と食物に合致し た喫味と信します

是非一御愛用を

飲食店組合 大新京旅館、下宿、飲食店組合(特別市側)では二十三日 商(特別市側)では二十三日 一で新年宴會を催す

間場取所

二疊、六疊、八疊

玄關、押入、床間、水道

新京特別市永昌路六〇一

・申込先 総町第二銀ビル六二號架理整職方、會 費 五順富日御持参 へ内澤三興、宴

十本八定價金五錢

見玉伯伯母君 久子刀自逝去

【東京國通】前拓相伯爵兄玉 中込區業主寺町兒玉氏邸内の 特込區業主寺町兒玉氏邸内の 陰居所で靜かな日を送つてゐ たが十八日夜から急に老襄加 はり十九召午後一時半ねむる が如き大柱生を遂げた、享年 九十五、久子刀目は散兒玉源 成むしめた人で明治、大正、昭 成むしめた人で明治、大正、昭 御希望の方は御來談あられ度し年齢十三才より十八才位迄

出場者を得たといふのに満

ふのに満足

二百米から千五百米にい

部會議第一日、午前十時

0 肉十 からる 13) 五

二〇九

獨逸製 者地日地

十五分打置時計 四五圓〇〇から 一二〇個の

會

上州樓、金城樓、赤玉カフエとから選に二十日逮捕され

高價に賣却 日午後十時頃祝町で

神費 し本月初めから あかぎ京染店に住みかへて何 喰はぬ顔をして相続らず註文 せ合金を

合現假宋什銀手證所所挑込未濟株 收入預有不動資質付表 排資企金利子 資付金金利子 計金金利子

世 1人穴、「カ五・リ穴 四一・00 四一・00 大三四、01五・00 大三四、01五・00 大三四、01五・00 大三四、01五・00

至同年十二月三十一日 自昭和十一年七月二日 新京

敏速確実な (NY) 電③三三 五

茨城縣人會々員各位に謹告

上候致に付御繰合御出席成被下度御案内申左の通り定期總會及新年懇親會開催可 住所氏名職業左記へ御通知ありたと、要に付住所に異動を生じたる會員並に藩崩入者は本籍追而御手敷乍ら出欠左記へ御通知額度尚名簿作成上必

一月三十日午後六時 曾我廼家 (三笠町三/六) 三圓也 (常日 片 多 の 事) 通中五大陸公司内 駅 話 (章) (事)

朝日通廿一

明けまして

下煖房所

一、自费

御目出度ら

豐

樂

一、採用人員

名

右希望者は一月廿四日迄に自筆履歴一、資格、外元確實にして市内に展證人を有するものとで市内に展證人を

滿洲電信電話株式會社

保店す社從遺六もに迄こ高置金御る手

は、 を等を の手からハンドバック、 様名 の手からハンドバック、 様名 の手からハンドバック、 様名

では直ちに捜査陣を布いたり ックを奪はれんとした事件がり ックを奪はれんとした事件が

A

陽に於て表示若は證明せられ 通關手數料輕減に關する件 東京市產業局 新京綿糸布商組合

宜にれ為荷 をてしめ物 興通時中引

聞

金)

(日)

曜

H

京

新京保税倉庫運用の圓滑化を 場する目的にて新京驛主催の もとに二十三日午後二時から もとに二十三日午後二時から の他に對する希望事項は次の の他に對する希望事項は次の

を は で は で が は で が は で が は で が は で が は で が と す で は 保管料を 徴 収 し で は 保管料を 徴 収 し て は 保管料を 徴 収 し て は 保管料を 徴 収 し て な は 保管料を 徴 収 し て な が 版 置料を 微 収 し て な か り と 存 じ ま す が 版 置 料 を 変 排 ふ 事 は 不 合 理 な り と 存 じ ま す か ら 善 處 方 御 の し ま す す か ら 善 處 方 御 の し ま す す か ら 善 處 方 御

巧みに小孩子を操る

不良窃盜團橫

晝の官舍街に戰慄

枕關問題座談會に荷主側

一、A(宝品は澤山

同所がら中級俱樂部 ではれる、會費は ではされる、會費は ではされる、會費は ではされる、會費は できる方法は できる方法は できる方法は

注意「魯炭末を目前にして例」であらんどうとなつた女護ヶ村、金輝路方に御」となった女護ヶ村、金輝路方に

國都の

停留所名變更京吉線自動車

窃取衣類は入質遊興

本 公会日この頃、これはそこらのルンペン少年を狩り集めた思性の窃盗團が負書間、主人の居ない代用官舎街を頻々と売し廻りその背後にはこれをの被害額も相當に上り、留守居の奥標連中を職慄せしめてある、常に四五人の小孩子が一團となつて奥さんの動静を一層となって奥さんの動静を

した男が二十日午後二時頃羽安給さんを片つばしから裸に京楽屋を駆用して鏖妓さん、 京染屋外交員逮捕衣類は入質遊興に費す

城口、坂本刑事 エーキングの女將の金鈔の給 受取り吉野町安喰質店にカフ 受取り吉野町安喰質店にカフ 一羽織三枚を三浦屋に入質し

美容見習生募集 御申込は 電(3)三二七〇番 設備合所、便所、 瓦斯等一切完備

~

除権判 大連市山縣通二百二十一番地大連市山縣通二百二十一番地村の高い中立人ノ申立=依り左配目錄記載ノ龍書ニ付公示催告を記した。権利り居出テ日共證書・提出スルモフナカリシリの常館の中立人ノ申立=依り該設書ノ無效す宣言スリリテ常館の申立人ノ申立=依り該設書ノ無效す宣言スリリテ常に、中一月十二日 昭和十二年一月十二日 昭和十二年一月十二日

郎

送 番種 人格數名號類

五一百九

年末年始から引き續き内鮮満 世郭家店の停留所名を翻農山 中郭家店の停留所名を翻農山

なほ客車増結

語

京オリムク

文化の華、

の盛觀

つた。

て、五千米、一萬米には芬廟マラソンで再制覇に偉功をた 時に確固たる基礎を築いて了 時に確固たる基礎を築いて了 はられた五千米と一萬米、更 に採、南、鹽飽がマラソンに では、日本の長距離 は、日本の長距離 の强豪を蹴落して遂に三位

◆ 省長會顯第一日、午前十時 民政部會議室 ◆ 山口縣人會、午後五時半千 鳥一年本選拔邊歲一行公演、公 會之 音本選拔漫蔵一行公旗、公

品 近江洋行特選

無

ウエストミンスター置時計

春のサービス品

忠治血笑記

博士推賞のキ 節子と共に

銀座キネマ



行歌映画「博多夜船」撮影中で

題名、本極り

年、ユーゴーが相手を郷」以來の名匠、ヨーエ

「新しき土」は、態よ音樂 「新しき土」は、態よ音樂 「新しき土」は、態よ音樂 でたが、ファンク博士は滯在 つたが、ファンク博士は滯在 一ケ年の間に、日本のキモノ を大いに推賞し、衣服として を大いに推賞し、衣服として を大いに推賞し、衣服として を大いに指賞し、衣服として を大いに活躍する。尚彼女は獨 大いに活躍する。尚彼女は獨

プラ映畵

着荷新

百和中婦手

本極り

書

に情緒悪かな作 がにそして がにそして

元氣無く不安を 参呈する日



諸物價盆々高騰の折 此の破格的大奉仕

人ショール

WINAMANIANAMAN 裳 製品、製品、御夜具、御摩蒲樹、牛衿小物、臭腸細工等、 期

> お買上金五圓以上 食

自午前九時半至午后九時半 代表電話(s)四一一七番 CAISA YUN YI HYAKKATIN Y (3) 四 番

出前迅速 (前門正院病鉄滿)三三通和大 番二九〇二份結電 MINANTANIAN MANAGEMENT OF THE STATE OF THE S

澤藤式

金九八圓

窓を生じて大評判● 味覺で立つ|| 食道樂 靑 青 葉



婆 前 四 土町四ノ二八 3

產

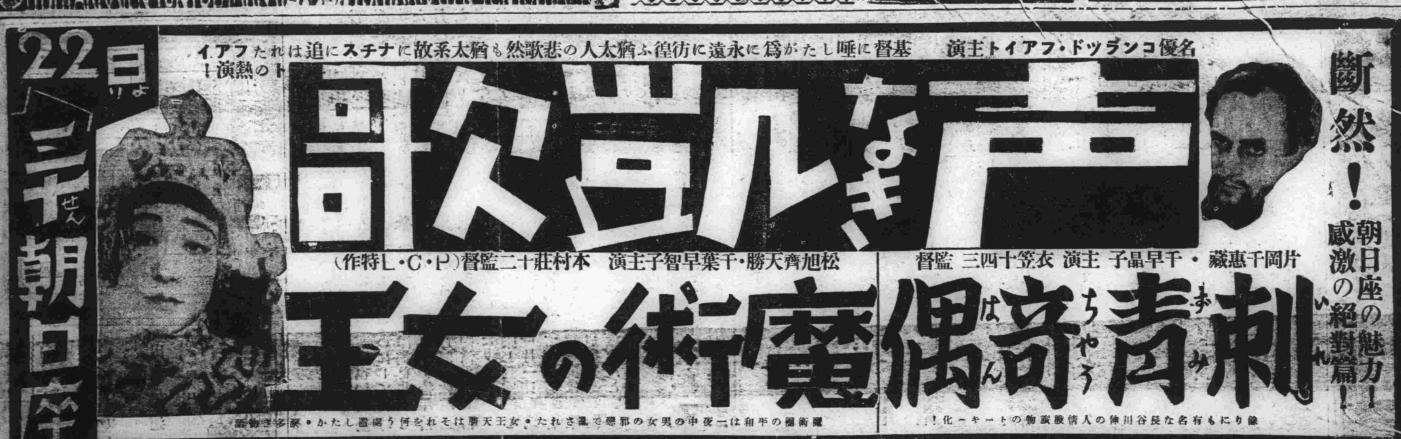
御買物は是非此の機會に 堀出物 何處より安い 質流品 Ξ (鲜

一番お徳です

話③三五九

七番

TATAL PROPERTY OF THE PARTY. 二 十 H 4 回衣 v) 月 0 H まて 英 annamin meneral



時に依り變化した

黑河省の農業

治安確立に件ひ耕地増大

分は露鎖に輸出されたのであった、その後露園の関境封鎖、水災、震支紛争、綾いて満州、東經後の兵観により農村の披身、官民一致今や新興の氣運、大り、官民一致今や新興の氣運、大り、官民一致今や新興の氣運、大り、官民一致今や新興の氣運、大力、官民一致今や新興の氣運、大力、官民一致今や新興の氣運、大力、官民一致今や新興の氣運、大力、官民一致令を制度、大力、官民一致。

土地利用状況より見ると可耕 地面積は約百十四萬三千七百 ・動に及ぶと排定せられるが交 ・動のは大きない、一昨年の作付面 でに没ぎない、これは勞働者並 でに没ぎない、これは勞働者並 でに没ぎない、これは勞働者並

ニュニュー もちもももも大 ||公改金の 父母宗智元三七月

市

1 1 8 8 章

新京主文型

無期に危險性の伴ふ事及び住 高深はその設育期の長い事成 高深はその設育期の長い事成

地面積は約百十四萬三千七百十地和用狀況より見ると可雄

定期總會

七八留比比

各地特產市況

岡 譲 二主中村かほる主

五車

概算入超額

六千九百萬餘圓

中小商工金融機關の整備擴

逃進することになった

中小商工業金融に 各機關の强化案

中小金融改善委員會で考究

十二月の交易四千二百頭

表彰を行ひ、午後八時半散

は昨年に比し五割以上の觸貴 すを得す從つて乘馬級の壯馬 段の盛況となり、全稀一帶に

たる當市場の購買客多く本月の生産乏しきため之が各産地

新京行商人組合 成立委員會

席上恒例により取引人五名のでは取引所關係方面百餘名をでは取引所關係方面百餘名をでは取引所關係方面百餘名を 計り以て産業開發助成の生氣 対り以て産業開發助成の生氣 を興ふべしとして居り、近く 何等かの方法で許容する意向 があり、目下大連にある三井 三菱兩銀行出襲所がこれが第 一線を承るものとして注目さ れてゐる 大連取引所信託 取引人を表彰 の状況は家畜出廻り期に入り新京家畜交易市場昨年十二月

とのことである、此のやうな やらで結局機體的には去年よ 新京家畜交易市場 漸次活况呈す

景東上乗で樂觀出來ると思は連に於ける本年度の土建界は連に於ける本年度の土建界は れてゐる

サマトホテル昇降機振 特に伴ふ従事員用電気 で築其他工事率天土建 一千二十六個 日本エレベーター 日本エレベーター 、00 100 爲步 替 相

場

映画御案内 置 楽 馴 場

たそがれの維納12.00 5.25 於座 階下·四十錢

1,35 0e35 3e35 8,85 4.05 9.05 下破數右門衛 脫線令孃 12,20 5.00 11.15 一型の対 入場料 階 下 六

忍術譽れの仇討貴志洋子主演 忠治血笑記讀林蘭本 密林の荒鷲ジム・ヴァンス二少年主演 絕對的 大衆料金 30 麗

に有ります 鮨。

金融は一應の整備を見るに至ったが、中小商工金融を闘理でたが、中小商工金融を闘理でたが、中小商工金融を闘理でたが、中小商工金融を闘理でたが、中小商工金融を闘理でたが、中小商工金融を闘理である。

一個の整備を見るに至ったが、中小商工金融を闘理である。

「大連商業諸園體から三井、三数点に相應が関東局に於てもこれに個應が関東局に於てもこれに個應が関東局に於てもこれに個應が関東局に於てもこれに変換を見る。 本月中旬の日本貿易 倍額の入超示す

正 その他軍需原料としての原油 重油、機械、鐵等においても 稍々顯著な増加を示してゐる また雑品の輸入額も千五百萬 調を増加して居りいはゆる準 他の輸出及び輸入部門におい ては殆んど平常的傾向を示す 「東京國通」中旬貿易は六千九百萬圓の大入超を示したがこの主なる原因は棉花の魚激なる輸入増加で、その額においては百十五萬ピタル七千萬圓と殆んど平常の倍額に相當するものである、これは爲替管理强化見越しに基く思惑的 原因は棉花の急激な輸入増加

二二、三四六三、 八一七六三〇二 八九二五八一六 八九六七五〇四

開部分品 一、、〇四の九十六〇四三九八〇二三、〇四の九十六〇四 三五九十六〇四三九八〇六十六二

商工省の銑鐵政策に

満洲側は不満

議會終了後に考慮が妥當

商况欄

經濟電報

政府の態度が明かにされたる ないかといふのである

圖住線全通により

特產物北鮮

二、仕人先 1、現地 金二、三、〇〇 2、內地 金三、〇〇〇〇 3、大連 金三、〇〇〇〇 4、滿鮮 金三、〇〇〇〇 4、滿鮮 金三、〇〇〇〇〇 5、合計 金三、〇〇〇〇〇 一、組合員及持口資 滿洲銀 春日教会員一三二名、普通出 春日教三、三九三口、特別 出春日教三、三九三口、特別 十二月分成績 十二月分成績

本月 幾 高 NB3件 金NO11、845、CO 金一次、140个

公債株式賣買

単獨 一千九百五十圓 量獨 一千九百五十圓

中小商工業への金融の問題、要望も を登るといふのも當然のこと、 をこにはまた業者たちに與へる影響も色々とあらう 本職を預報の一月號を讀むと他が描き出した。 の生活に色々の變化が描き出した。 の生活に色々の變化が描き出した。 の生活に色々の變化が描き出した。 の生活に色々の變化が描き出した。 の生活に色々の變化が描き出した。 の生活に色々の變化を楽しての精 あることが判る。本語的の三年 ある。ことが判るを記述を使いる。 ある。ことが判るを記述を使いる。 のはある。こうにもさまた。 は日本の十年にも言るといふ ある。

市況

新京主李

十錢

二十日午後一時より賓宴櫻に 二十日午後一時より賓宴櫻に

ス

大城龍太郎・深川縣子主 お 襲 さ ん と 浪 人 花柳小菊・高瀬質乘主演 畑 君 三 日 天下 ハリキレ日活

1.03 5.13 9.23

主

姫君海を渡る社体・フレッド・マクマレー

東三條通四二 脱三丁目一七 日本橋通七五 日本橋通四九

吉野町一丁目二日 松 廣 畑

京現物 新京老松町二十

昭和十二年一月二十九日

高當株式受渡期日 當 決 定 期日 常 決 定 期日 常 決 定 期日 付數價の株期單金 間位格額數 昭和十二年一月二十五日より 明和十二年一月二十五日より 明和十二年一月二十五日より 明問中の申込と雖も申込珠養養所練数を報過 したる時は期間中の申込と雖も申込珠養養所練数を報過 したる時は東田人に於て適宜側着を決定す

六千五百株

割株割株中

会の終了するまでには管現せた。 会の終了するまでには管現せた。 会に於て装問題を充分検討したる を主ぬかれようとしても次して発音に たとしても決してあるが、滴 を主ぬかれようとしても次してのる態度は對 たとしても決して完全なる需 い、從つて題會に於て続しを がの調節を行ふことは出来な がの調節を行ふことは出来な がの調節を行ふことは出来な が、従っているのもなく を主ぬかれようとしてもない。意 が、従ってこれている。即 を主ぬかれようとしてもない。意 が、だって記書ので記書を のもなく をまぬかれようとして必必ず がの調節を行ふことは出来な なるだらば一元的統制を管現し なるが、 が、 が、 のもなく を表の動態を のもなく のもなる。 のもなく のもなく のもなる。 のもなく のもなる。 のもなく のもなる。 のもなく のもなる。 のもな。 のもなる。 のもなる。 のもなる。 のもなる。 のもなる。 のもなる。 のもな。 のもな。 のもな。 のもな。 のもなる。 のもな。 のもなる。 のもなる。 のもな。 のもな。 のもなる。 のもな。 のもな。 のもな。 のもなる。 のもな。 大連土建界

満州國建國以來土建工事は急 数に増加し其金額も一年一億 数千萬圓に達すると云ふ黃金 時代をもたらしたことのある 全滿土木建築界は近頃其前途 を非常に悲観されて居るが、

從來の哈市吸集轉換せ

新京手形交換所

仙仙仙仙仙仙仙仙 七七二二四九

中大 雪回 松山宗三郎・水川八市 子主演 曲斬り人天狗 ハヤブサヒデト猛浜 応 風 街 第 一 編

12.60 3.0 阿部九州男 木下双葉 8.23

主演
る傑梁川庄八
アベルガンノ主演・佛レ
ランダ招特作 世界の彩

中申賣壹賣

込込 受株出株出 賣

朝日座

ベ社特作ジョン・ハワー ド主演 | 空中非常線 大城龍太郎・梁川藤子主

心出賣式株マネキ都帝 同放の資會開其來な月た新約吾好す娛會社始の好き八る京七が

式會扯

務取

締

役

代帝

項

開衆合式を

爾止拾し時金

漸次減少する事となる見込 後においては公債競行額は

策について申述べる事となっか政府の財政、經濟

は地で年にたいとが選出していいが選出していいが選出していいが選出していいが選出している。 「一般の人」を選出している。 「一般の人」を選出している。 一般の人」を選出している。 一般の人」を選出している。 一般の人」を選出している。 一般の人」を表している。 一般の人。 一般の一。 一然の一。 一然の一。 一然一。 一然一

「東京國通至急報」十一日の 業職院における濱田國松氏の 整相との論事は議會數會後閉 かれた軍首脳部會議の强硬決 意によつて相當重大なる事態 を閉を通じて惹起された寺内 を開き三時間にわたつて協議 を閉き三時間にわたつて協議 を開き三時間にわたつて協議 を開き三時間にわたつて協議 を開き三時間におたつて協議 を開き三時間におたつて協議

懸念。

馬場藏相語

相は左の如く語る

閣議散會

直ちに議院八大臣室に至り臨は午後十一時宮中より退出、

は午後十一時宮中

【東京國通至急報】廣田首相

を續行

臨時閣議

から心配

一時州分秦新聞班長を通じ、「東京國通至急報」陸相官邸

こどうなる

拔瀝

陸相決意

和

田氏の演説に對する海軍 態度を決するについて軍 職を選げた

るについて重要協

ところ見透しはつかぬ

今の

演説に 首相

首相退出後も

財政方針演說要旨

馬

湯藏相

い、一國の外交方針が根本いたが具體的には判然しな廣田首相は對支三原則を設

渡邊千冬子、第一

陣

一策に遺憾表明

緊張裡に幕を明けた第

日

【頁二十刊夕朝紙本】

学院

板材

村甲板

廣田首相 登壇相、梅津次官以下の額

登壇

現下の時局に軍部の推進力を顧ってゐる

有田外相 日支外交は行計つてあるとは考へない、計つてあるとは考へない、日支親善は永年の目的であるためにない、永い日支を切離して失敗だ成功だと騒ぐことは正しくない。

防、外交兩問

題提げ

L た

午後九時三十分、

田國松

君熱辯

書御公布を奏請すること」なり午後九時十五分廣田首相いて協議の結果、局面の展開をはかるため議會停會の詔[東京國通至急報]政府は廿一日議會散會後緊急閣議を開

は午後九時三十分、湯淺內大臣は九時五十五分失々參內[東京國通至急報]廣田首相の參內に引き續き百武侍從長

左の如く決意を披瀝した 本日は何事も申上げること が出來ませぬ、じかし自分 としで深く決するところが あります

議員の發言は 自由なり

学

會停會を奏請

往 來

衆議院早

(東京城通) 廿一日休會明け、 衆議院本會議は午後一時十二 り 赤くて諸般の報告の後同廿分 富田議長病後に似以元氣ざで 原會を宣し、いよいよ國務大 臣の演説に入り首相、外相に かため登壇、詳細の説明に入 がため登壇、詳細の説明に入 がため登壇、詳細の説明に入

(B)

曜

他女人」君 現内閣の最大使 一である、しかるに未だその である、しかるに未だその である、しかるに未だその である、とかるに未だその んで冒頭から護場騒然、戦相 に對する人氣頓に陰患なるを 思はしめる、かくて二時四十 分財政演説終れば質問の第一 神を承つて民政黨の櫻内幸雄、 君登壇

濱田國松君

濱田氏演說

に就い

軍重要協

一矢を報ひ、次いで濱田國松と鷹田首相に向き直つて先づ 近時我が

政選用上の國民的政治再建のため軍人の議會政治再建のため軍人の議會政治再建のため軍人の議會政治有建の政議は憲法・所謂政治結社によりの民政政策は憲法第二十九の民政運用に關聯したの政策は憲法の政策は憲法第二十九の政策は憲法第二十九の政策は憲法を関係の政策は憲法を関係の政策を関係を関係を関係を関係を関係を関係を関係を関係という。

、も雲行險惡

し重要協議を行つた結果、衆 た 一日午後院内閣議を別き同日 中 の議會を中心とする政局に關 さ 議院の反省を求める一方難局一競せられた

日間を奏請した模様である 停會詔書 百發せ

らる

多內、

右停會詔書御公布を奏請した、

停會期間は 多分二

「東京働通」整室に引揚げた 対く語った

濱田君語る

譜

信

九時十五分参内右の旨奏上しするに決し、廣田首相は午後 た結果、 左の如く停會詔書が

展帝國憲法第七條ニョリー 月廿二日ョリ廿三日マテ二 日間帝國議會ノ停會ラ命ス 御名御壓 昭和十二年一月廿一日

【東京國通】廣田首相の施政 面の批評を綜合すれば左の如 貴院側批評 施政方針 經費を要すること」なるので 敷料が課せられ然も▼日 料一件二圓の外に高率なる 氷引くため價格にして百 も足らないものに次、

の言ふところを見ると一とした数似することは不當取得が 保税倉庫は漸く生れ出たばか 形 療 行洋林秋通橋 本日 0=



御家族樣にて御利用願ひます 女中への御心付は堅く御辭退致します

御手軽な一品料理

御書食には安くてし

5

ŧ

5

す

È

燒

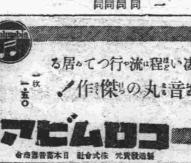
Ŋ 餉

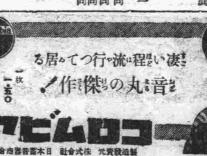
O 御

團

欒に











寺内陸相 我國の政治動向については何か特殊な何向があるかのやうに言ぶの何が特殊な何のではないか、そのほか濱のではないか、そのほか濱のではないか、そのほか濱のではないか、そのほか濱のではないか、そのほか濱のではないか、そのほか濱のではないか、そのほか濱のではないか、そのほか濱のではないか、そのほか濱のではないか、そのは一般国の政治動

一、日獨協定に闢し種々異論ののあることは已むを得ないのあることは已むを得ない日英陽係は往年の日英同盟時代と何等極化を來してあるない。漁業條約不調印は口實にしたがあらざるを口實にしたであるでないと考へてあるる。

における獨裁政治の相 を指摘し、萬世一系の天皇を があが國體と獨裁政治の相 を指摘し、萬世一系の天皇を でれざる由因を鏤々力或し、 最後に

午後零時卅三分散會した答辯は次回にのばすことにし 馬場酸相は十二年度豫算編 に當り各省の要求にかっ 成に當り各省の要求にかっ 道徳の問題である

相等 參內

からした確立せず單に思かった。 を外交失敗の原因はごれてあたので行ば、 がのの締結はを、大変のででででででででででででででででででででででででででででであると思ふ、この故では、 での締結はを、大変を、 でででででででででででででででででででいる。 でででででできます。 ででででできます。 でででででできます。 ででででできます。 ででででできます。 ででででできます。 でででできます。 でででできます。 ででできます。 でででででできます。 でででででできます。 でででできます。 でででは、 でででは、 でででは、 のででは、 のでは、 のでは、

ならぬ、この點につきあらかじめ外相の措置に粗漏はなかつたかと迫り、さらに論鋒を轉じたあって力の政治を説くが如き間しかるに近時力の政治を記くが如き間と相容れぬことはいふまでと相容れぬことはいふまでと相容れぬことはいふまでと相容れぬことはいふまでと相容れぬことはいふまでと相容れぬことはいふまでと相容れぬことはいふまでと相容れぬことはいふまでもない、獨裁政治がわが國體である。獨裁政治がわが國體である。不過数政治がおが國際である。

吉川商會

るか即答せよれたが何處が侮辱ではれたが何處が侮辱する。

と 満場その成行に 固睡を 呑む と 満場をの成行に 固睡を 呑む

寺内陸相 いづれ速記録を調

一君再び

登壇

と述べるや政友會席は鷺々と

宮中佐

相さし

詰め

寄る

疑に入り、第一陣として渡邊千冬子(研究會)登壇、外交問題を取上げ(東京國通)貴族院本會議は午前十一時十三分首相、外相の演説を終り質

貴族院本會議質問

世をとれ 世をとれ 世をとれ

ある と忠告した 次いで議事連行に関する設言 と述べて幕となつた 中山福城君(民政)立つ、その時有田外相は櫻内君に野する

貨幣發行額

本神野悦三氏(鐘紡)二十一日中央ホテル 日中央ホテル 日中央ホテル 有地鐵之助氏(會社員)同 本花輪園時氏(司) 本花輪園時氏(司) 本花輪園時氏(古木教商)同 本花輪園時氏(古木祭)同 本花輪園時氏(古木祭)同 本花輪園時氏(古木祭)同 本部村峰一氏(木材商)同 本の藤智光氏(興銀)同 本要藤智光氏(明)同 本事田五作氏(同) 本事田五作氏(同) 本事田五作氏(同) 本事田五作氏(同) 本事田五作氏(同) 本市田本泰氏(請負菜)同都本

往來

新聞班員任命 新聞班員任命 在) >試本部附(英國駐在) 等謀本部附(獨逸國駐在) 等謀本部附(獨逸國駐在) 等謀本部附(獨逸國駐在) 等以本部附(獨逸國駐在)

至急本人御來談下さい 二十四五才より三十才位迄 女 募 集

喜

電話 新京豐樂路三一四 四八七一番 (中央飲店前)

KAYEVAYAYAYAYAYAY

タリー

家觀測所の設

全加さる にいずにかけれるとしている。 が行してるたイタリー商 変を拿捕したと傳べられ 変を拿捕したと傳べられ

時着ひかりで來京した氏は過般歸任二十一日午後十

手形

桐同密于海富同同同同同同同同即以山

有晚早長廿紅 三生十世紅

全 午後九時至 午前八時半

選茶ホテル 持盾泊は

社員會役員會

新

京取引市況

三年三枚五八四、八〇八八八五 交換高 (計目) とによつて支那の保全米國は門戸開放を主張

第五條 申告手數料の徴收おる事項は國務総理大臣別に る事項は國務総理大臣別に

終月 祷 祷 别

大豆 その

蒙政部所管内

は國線急行料金によることとを更した。なほ特急々行列車に無停車、開平に停車するに

四〇三、四〇四兩列車は郎坊

清食事は

輸入グリルで

輸入面值店 神買物は

코스 및 기관 건강

光

第二條 対照を致持さる場合は 対域の手数料を納付するときは手数料を納付するときは手数料を納付するときは手数料を納付するときは手数料を執行するときは手数料を執行するときは手数料は執照一枚につき一個しずるときは再数給を申請るときは再数給を申請るときは再数給を申請るときは再数給ですべし、前項の手数料は執照一枚につき一個しずるときは再数給を申請しているときは再数給を申請しているときは再数給を申請しているときは再数としているという。

たける昨年十二月中の國際運 が)は五千四百七十キロトン でうち大豆が四千四百四十キロトンである(單位キロトンであるが、これの各縁に である(単位キロトン)

部では午後三時から一階食堂

滿支直通特急車

阪谷滿鐵理事

昨夜來京

無停車驛

第一條 土地審定法第三條の第一條 土地審定法第三條の

母と官の健康診斷及び認話、 の ら新しい試みとして二月から の ら新しい試みとして二月から の ら新しい試みとして二月から ことになつたが期間中は佐中 ことになったが期間中は佐中

當王衡石葦東龍延朝鍋老 月 子盛 陽佛頭

311111高高高18

金三百六十八百五十七錢 會計 課《滿日扱》 一金三百六十八百五十七錢 龍 江 省 本 部 报 一金八十四八十五錢 營口縣本部扱追加分 一金百八八十三錢 海拉爾市 本 5 扱 經單七十錢

OO E

五二〇〇〇

チャチン

がある 鑑賞等有意義な催

間島省內各

扱穀類數量國際運輸取

戸外週間終る

十二圓五十五錢

株

相

式

「スプ ニニニーニスモーーセエーニ ニハガエ〇ニ〇〇〇〇八六二五五〇八〇 五〇三六五五二三三五〇〇八五五〇五

前)七千二百五十二一种古 正一(新京)

二九弗一六

一片三二分元

あらう 英政府に回答が競せられるで

企一百

文教部の講演映畵會

手敷料に關する件を廿一日満州國政府は地籍整理に件

左ふ

の如く公布した

地籍整理に伴ふ

で有生民健の向上に

衛生週間『實施

手數料規定

米洋進攻作戦と稱

三專門學校

の改新

り開會に至るまでの

イツ政府の行動と同様直ちに

神作與海の日本

51

とみられる

國立に移管す

文教部の教育國策第一步

をを含む難院法政正案を提案 とを含む難院法政正案を提案 を含む難院法政正案を提案 を含む難院法政正案を提案 を含む難院法政正案を提案 を含む難院法政正案を提案 を含む難院法政正案を提案 を表記を含む難院法政正案を提案 を表記を介述の の意向を打診しつゝあつたが がもらされたので同意では政府 があらされたので同意では政府 があらされたので同意では政府 があらされたので同意では政府 を含とが があらされたので同意では政府 を含とが があらされたので同意では政府 を会と があらされたので同意では政府 を会と がある」旨

後五時出

東艦隊司令官に

佛極

山口

時間變更

れる同幹車

人につき決定 人につき決定 人につき決定 日本職員として採用給與は各 人につき決定

大平洋の狀態が緊張するにつ であらうことは明白である。 であらうことは明白である。 であらうことは明白である。 太平洋の狀態が緊張するにつれないところである。從つて機関であることは、疑ひを容鏡関である。從つて

一劈頭において豫算審議期間の【東京國通】政府は議會再會

副議長二名案

愈よ實現か

なので、副議長二人制はいよ政友會もこれに應諾する模様

(東京國通) 二十日附海軍聯令左の如じ 海軍中佐 古山 良夫 納上海海軍特別院戰餘附兼分 第三艦司令部府

十一號室

海軍辭令

當日持參

電氣

込先は商

二六八) 會費五圓4

哈爾濱高等 工業學校 工業學校 工業學校

中央の妥協牽制

三中全會開會に先立

川越大使、

張氏訪問

(新京事務局) (新京事務局業務課勤務を命す 職員 公島榮美雄 職員 公島榮美雄

留日學生豫備

合累 義勇軍問題に 計 大河 1、20

獨伊協調

商州帝國協和會において募集 中の内蒙義軍義捐金應募者名 第三次競表(一月十九日現在) 義捐金應募者名

一金百八十六圓廿三錢一金四千百六十七圓升一錢 一金四千百六十七圓升一錢 一金二千二百廿五圓十一錢 奉 部 扱 一金二千二百廿五圓十一錢

つた 通話事務 値 記話事務 · 日午後六時二十 昭卿、熱河省長劉

のと開始することにない殿電報局に於て電話 務開始

|野| イジワナ

相

つた線

任忌籍整理局總務處調查科長監察院審計官 森田 鋼治

國務院辭令

上し来京は中止にな 外事課長相川勝六氏

トポティ 金井間目 で 外事課長 **着列車で來京ヤ** リノボシ

省長來京 へ移轉 ラバ ハズ

補加納屋海軍航空除分陰長機關少佐 吉田 二郎

金北

滿鐵辭令

セマヌ子

M.5% W.00 小賣相場 七事丨

対対の 100車

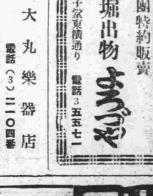
1章, 00 1章, 00 | | 車車 |

和 樂器

質 ラ ク D' 剛

有 助

電話3五五七一







電 使利に御相談に應じます 話 金 融质

丁目九番地 六二六七番

樂而藥光樂樂樂樂學不學不學

和洋服堀出物

異凱湖中の蘇縞國境線「タリ てをる、彼の東洋一の大湖水 でをる、彼の東洋一の大湖水 でをる、彼の東洋一の大湖水

カニナ駒宛の荒蕪地を無償に 方面より二、三年間に亘り二

地に飛で行

撞温貸球泉室

9

19

低廉

電图 五七〇

(高) 蔣や第二十一、

れば民國十八年露支事件當時と平陽鎮より幾何もない、さ

午 後 五時密山驛着直 大る驛前ではびか一の大旅館であつて室敷も十四五を敷へ 而かも本建築である宿の主人 であつて室敷も十四五を敷へ であつて室敷も十四五を敷へ

密山—黑咀

虎林間

務事件の

あった

里よりない、有名な彼の金廠 い所は鐡道沿線より僅々五邦 い所は鐡道沿線より僅々五邦

線を敷設して鋭意其野望を満 地地方の交通不便なるに乗じ いは低廉なる物資を輸入し農産 は低廉なる物資を輸入し農産 に輸出せらる」に到り王道樂 として輝いてをる

目な青年が堅實に基礎を築い 動家であるが奥地に見受け勝 動家であるが奥地に見受け勝

と一時間平漸 は定時を遲るこ

とて何の役に立つものでない事に如何にストーブを焚いておる客事に乗り込んだが夜中野酒しの客乗り込んだが夜中野酒しの客

移民のみを後者は鮮農移民のおくが満拓と満鮮拓殖とは別

るのである、尙序に一言してて満折の手に買收せられてお 此等は概ね我が國策事業と

旅順大連や青島天津を論ずる夜原野に應しいものである「彼女の語る所は如何にも雪の

中さんがおる、

と言ふ女傑の女

旅順大連や青泉

を縣長其他要部を訪問大體の (城内) 迄乗合自動車にて行 (城内) 迄乗合自動車にて行

密山を發して東へくと進むである旭光に映へて遙かに此があのまま興凱湖迄連るの大盆地を望む、杜絕官はんが大温地であるが事變以來我軍の大部地方至る所に點在する所の別半分は一面の大平野南方は、北の密山縣の南部と大温地であるが事變以來我軍の大地を割したのは北の間間という。

づ無人の大平原である、此の 附近に敷戸の農家が極く最近

は野暮よ」と冒頭し之迄十五年の間南滿各地は勿論延吉龍 中の間南滿各地は勿論延吉龍 がはこか月以上は居ない をいので護身術として次から ないので護身術として次から

日國境虎林に向ふことにした

 \equiv

東北國境地帶

飛石傳ひに渉つて行く外ない 飛石像ひに渉つて行く外ない

まい今月に至つたのであるがの地券を轉質して目前の利をの地券を轉質して目前の利をを開墾するもの少く獲たる所

と云ふ旅館に投宿す

であるが當日は委員一同の外

産物の輸出促進方法

H

警備に、降雪に

いる批烈無比の職闘狀況が甘 らされた

なほ

打撃を與へて潰走せしめたと質に十時間遂にこれに全滅的

けつゝあるがこゝに寡兵をも文字通り不眠不休の奮闘を續

は、二名負傷した が、二名負傷した

等を視察の後三十一日午後九年二十八日新議州二十九日平

愛列車にて西鮮地方 る二十六日午後十一時京城

時五十分京城驛着列車で歸任

あする筈でる

研究會

二次委員會

朝鮮貿易調查

完全なる協力を保ちつつ 寒趣道における 東速道における

へて舊正前までには八百戸敷でこれに愛路村經費若干を加

四 果敢な行動は國軍の龜艦として近く軍政部大臣より表彰されることになってゐる

二回委員會を開催するが検討 時から京畿商議第二會議室で 時から京畿商議第二會議室で

北涵農村の實情を如

共匪を覆滅す

壯烈無比、満洲國軍の威力

近く軍政部大臣表彰

愛路村窮民救濟

哈鐵管下愛路村に 問事處を設置 村民間に非常な好評し

本 大體十二、三歳から二十五、 一 大歳までの青少年に對し約二 の新時代の農事知識を普及せ り新時代の農事知識を普及せ り新時代の農事知識を普及せ 護村塾を開設し、これ等農村 管内主要三十六ケ所に多季愛 なつた、塾舎には多季休業中の新生活運動を提唱する事と の小學校や村長の自宅を當て

ある、既に去る十日以來數 非常時局に滿嫁に職を奉ずる 超過する。 と、なつ 少場違ひの講演をなしたこの には豫定める方針で講師は各站長、 員夫人等女ばかりの集りで多 には豫定 苦闘吹雪の中に十時間

【哈爾濱國通】哈徽愛路係で は昨年度管内四十五ヶ所に間 に多大の好評を博してゐるが に多大の好評を博してゐるが に多大の好評を博してゐるが いち農事の二〇一件が首位を 占の、ついで人事の一七七件 告の、ついで人事の一七七件 との一件が首位を が強生一七〇件、教育一四〇件

ラブで滿鐵鯖人社員および社 日午後一時半から大連社員ク 松岡總裁 婦人社員に講話

婦人、滿鐵社員を夫に持つ夫 以に家庭生活を改善して滿州 いに家庭生活を改善して滿州 満鐵より各府縣 知事に依頼の

| 1日締切となつてゐるが、常地各府縣知事に對し依頼した つたが締切後の今後一週間位 事の推薦による志望者および日までに滿鐡に集つた府縣知 【京城支局】滿洲國市場への

道輸出雖魚水產組合、咸南道會、朝鮮繼詒水產組合、咸北 當局も出席のはずである會、平北道水産會等の各關係 物支那輸出組合、慶北漁業輸出鹽魚水產組合、朝鮮水產 組合聯合會、滿鮮魚市場聯合

廢帝セラシ

工

ラップ族に

闘する新研究

家寶賣立

海外ニュ

1

ス

ではないかではないか

満洲市場に宣傳

表、祖國を追はれた廢帝の身に家寶を蔵竇に付する旨を發

ハイレ・セラシエ一世はさき ソに亡命中のエチオピア皇帝

【ストット

岸の漁場に於ける實況を視察産關係業者を招待し朝鮮全沿 期の十月頃滿洲國內著名純水明年度の事業として今秋鯤漁 準備を進めてゐる があるに鑑み制鮮水産會では満洲市場に於て認識不足の憾 **愛展振りを見せてゐるが末だ** 鮮內水産物進出は最近著しき 日いよいよ自慢の銀皿大コ

に變つたかに非常に興味をも

方な木造の家を建

ら農耕や漁撈の生活轉向したか即ち馴り

牧生活をやめて

このほどその研究

*

洲移住髄堤遊説に闘する報告 同社主催にて擧行した内地滿 同案滿洲日日新聞社では昨秋

級り合せた! る、また氏!

氏は銀の納や獣皮を

銀の首

で、これらはストット

遞信省承認消火器 軍 艦船 需品

の小屋の前

前にこの「カタス」

兼ね十九日午後二時から新

代表約二百名を招待、移民間京ヤマトホテルに在京各機關 田同社長の挨拶並らびに内地題に關する座談官を開催、村 た、曾場には物見高い一

盛會裡に散會した 盛會裡に散會した 盛會裡に散會した 和が、白銀の食器一揃が特に人 気を呼んだほか、世界各國か ら集めた金銀賞をちりばめた 直徑九インチの銀皿一揃廿四 枚が五百七磅の高値で競落さ れたのが注目を惹いた。かつ

れたものであつて其後幾分 が漸く之の程全準備なつた際間は明治四十年頃作製さ 等諸準備を進められてゐた料盤とも云ふべき現在朝鮮 總督府水強課では昨秋米測針盤とも云ふべき現在朝鮮 總督府水強課では昨秋米測針を の改正を行ふべく計畫され

の戦打は加へられたとは言の戦打は加へられたとは言の戦の関係で著しく變化 その他の関係で著しく變化 では過失され機械化してあり の戦力はかられたとは言 朝鮮漁業圖 新しく作成し直す ものと見られてゐる を対して愈々測 を対しての日時を要する は三ヶ年位の日時を要する は三ヶ年位の日時を要する

> 兄の陣営に な資料として保存されてゐる フラ 将軍の令弟、革命勃 少佐は入り知スペイット殺國通』スペイ 弟墜死か ンコ將軍の t刀 親 口窜

と言はれる、目撃者とに際して墜落惨死 と先頃ピルバオ港 軍の第一線に活

銀

岡田式泡沫消火器

(呈ゲロタカ) 許特賣事・案新用實

滿洲代理店 東 岡田式二億萬圓消火器 ○非硫酸·泡沫·不凍·强力○絕對安心の出來る消火器

本=-ニニ(3)話電

大連市連續街榮町四番地 東京•深川 樹式

睦岡 田 電話伏見長一

商商 二商商

一億圓全額拂込濟





共 同 舍 宅 章 二 新 横濱正金銀 一億三千九十萬圓



面石石山 最 切製定折查 初

一月十五日より二月十日まで 0

器四四八五(3)話聞

雑貨化生が

の製圖並に出願手續 東京興安大路建和街角二三五號 大谷鑛業製圖記 大谷鑛業製圖記

新鑛業法に依る製

ります

諸寶石 ヒスイ ダイヤ 揃へて有 實厄 豊富に取 珠 心悲身見 高 東石宝 **合商間信** 前局便動運央中京新 玉

は

和樂器 諸官廳並各會社御用達 專門 大丸樂器

有名賣藥化粧品の御用命は老舗信用ある藥局が安全 醫理化學藥品、衛生材料 醫處方調劑所 洪盛堂宮崎藥局 九樂器店 (2)三四九七

は 春 章北 するが、 一線を 別で ビュー 會商器音笛本日 社會式株 元費發造製

あなた。無情 君 輝

最新 轉々と煩悶する恐るべきモヒ中毒症! 苦痛一苦惱一 治療 鬱々||道徳の破壊

所でありませう。
あお果何れも効力充分ならざるに惱むことは日常經驗せる
対なき場合の少なからざること又は其等治療剤に習慣とな
がなき場合の少なからざること又は其等治療剤に習慣さな 斯る場合福モナールの如き綜合的に奏効する藥劑をお選び所でありませう。

依る隨伴症狀をも好轉せしめ以て其の中毒症狀を治療せしむるにあり食慾恢復、安静安眠を奥へ速かに中毒症狀滅退せしむこ共にこれ等中毒にせられたる異常物質の排出を促し、常用麻痺薬の慾求量を滅じ、心身爽快速かに獨特の解毒作用を響み耐へ難き禁斷現象を長時間抑制せられ、生成

モルヒネ並に同類似麻痺等慢性中毒症 順天堂醫化學研究所

武田
邊
商
店

適應症

發賣

大阪道修町

(ハ)ロシャバン り数集よ

は筋分かこいつつあ春からえひませらやく落しほんに今夜

(二月號)

青山射擊場跡

オッン候補地に決定

場跡に決定した(京の候補地は青山射線

余が

- ルス特徴を無線で送って大西洋を横断してロールストので大西洋を横断してロールコニは

ジョン時代の來るのは極めて 想しつゝ大西洋橫獅テレヴィ

線の幾例家イタリーに参列、素晴しい蹬達を遂げ十二月十二日は無一らず壯者を凌ぎ元氣で祝賀式

記念式席上マル

コニ侯像言

代ともいべき今日にいたつこ とは寔に感慨に堪えない、文

代ともいべき今日にいたつこせいにある受信機に對し世界にからもう三十五年、無線時でからもう三十五年、無線時でからもう三十五年、無線時でからものでは、無線は対した。ジョンのジゲナル・

ります。

らこれらをちよつと受べることが出来ますが眉や目の形のためでもかへる

@0000**@**

ります。 自分のお化 なきて

つg 00000

化粧料の進步は。かなりに類のは昔のことでお化粧術となどが出来ない様に考へられた

かなりに

@:000E

用ひて大器

5

番

日新M

主

婦

0

科

學

季

節

0

食品

(1))ビアノ獨奏 (イ)メリーゴーランドラ (ロ)ソナテイネ 第一五 ーノー タイヤベリ ー作曲 出原雅子 ト作曲 出原雅子

・象

九三〇

态

料理

する 和

九、四〇 經濟市沿九、四〇 經濟市沿九、四五 建國體標

素、味

へとかけて頂くと、動ないないでは、 ないないでは、 ないないでは、 ないでは、 ないでは、

敷チの

シーミュート

人の精兵

ヤーネフェ 海葵 二

三、当場に関いると

生れつき」ど は昔の話

自在論

例へば貴女の眉を剃つて 映畵女優のに眞似なさ

なつてしまひますから、又とで又かへることが出來なく (一工夫なさる事は勿)

回000回 お化粧など、名な映画女優の中などに、自的ででないたり、間近でみて別にき よく時々おそりにならないと たなくみえません然しこれも 目が二本になつてところは根領 もかなり、間近でみて別にき よく時々おそりにならないと すべてにかなりに次階なお化 から御注意が肝心です。あとれいに描けば最も自然でしか の剣刃ですつたところは根領 もかなり、間近でみて別にき よく時々おそりにならないと すべてにかなりに次階なお化 から御注意が肝心です。あとれの場合だつたら、眉も亦い にオキシフルにアンモニヤを かっぱん から御注意が肝心です。あとれるの場合だつたら、眉も亦い にオキシフルにアンモニヤを から御き高が肝心です。あとれるの場合だつたら、眉も亦い にオキシフルにアンモニヤを から御き高が肝心です。あとれてになるません然しこれも 目が二本になつてしまひます かっぱんちして鈴つておいても から御きを からがに、自 的 て大膽に描きます。新 - 名な映画女優の中などに、自じ、工夫なさる事は勿論、有 IJ 数の子

は炭火が宜しい。 は炭火が宜しい。 マ…黒豆を早くふつくりと煮 ますには、買つて來たま」を 布で拭いて、煮立つた湯に入 れて煮ます。水で洗ふと煮立 妨げられ勝ちなので効果は淡水はこの個水も硬水の場合は 主婦 火で手早く燒きます、火瓶苔を美味しく燒くには のメモ



むー「一無虜畏ラ聞せ獄行ァ 、人傷人念はくンく年舎くラ さは痛、のれもスもての兵ン

中)の大原野神社で今日 宗教行 X短試合をなす(永 と

八。〇〇 海海軍 指本を管軍中 が数数を なるない。 大、二五 朝鮮演藝(鮮語) 一本、五五 カレントトピックス 大、五五 カレントトピックス (東京) 七・〇〇 ニュース (東京) ニュース。告知事項。番組 豫告 (新京) 無條約時代の第一年を迎 山本五十六

いれども妻子を如何には「此の身も倶々死な」「他の身も倶々死ない。質傷堪之難し」

八、〇〇 管 絃 樂 (東京) 日本 放 送 交 響 樂 團 指揮 ヨーゼフローゼ 変響曲 第七番 イ 長調 ベートーヴエン作曲 國境を越える童面(大阪) 國境を越える童面(大阪) 「国 B K 文 と 課 編輯 在井 関子

築運わ臨帝痛思 - すむ 光びが終想ま否答さ の埋力のへときさ

虜はれし、我が皇

女々しや、妻子

勘章を、此の胸に置めてよ。

を、フランスに

太大小小笛三周同三同同同唄 蔥蔥蔥蔥 味 味 線 線 獅長子 唄 わ出侵矢皇ろ敵で死 れでしま帝く軍 と はでして、わ時事 と りが、 も手

九〇〇

主月

帝守護らむ 時に、劍握り、墓を 死を越へ、 雨と降る 以め寄せて火銃とど

一〇、〇〇 (一)小唄(11)獨唱 ・ 本山 (東京) ・ 二 - 一 (東京) ・ 二 - 一 (東京) ・ 二 - 一 (東京) ・ 一 (東京) 忘れな草 長山長谷雄型 長山長谷雄型

一二とよが別れる。 の目があの手があの

日 続して別れたあの土手にですが、又咲いた。

費◆三行 一回 金ガヤ終 ・ 日本の被雇度 一回 金四十銭 ・ 日本の一項 金八十銭 ・ 日本の一項八十銭 ・ 日本の一覧 ・ 日本の一 ・ 日三案內

ほねつ

宋松接骨院 宋松接骨院

ぶたまん専門

帝

キネ裏

眞黑お

電(型)一八五五

進る宏九五二

成

P

電話。靈專門

新京百貨店二階二號室新京百貨店二階二號室

兴。堂 可愛がられるの會社 小娘を のと思い、 のい。 でついて行つて

しのおぢさんは、この 地と商賣敵の會社とが のなから小娘のお父さ が言から小娘のお父さ が言から小娘のお父さ が言からからひこんで歌の上手なの はを話けに使ひます。 はながらからからなって小

性の百貨店

あ

章 3-2082

连菜町-7月四

| 富士町二ノ一五

電話(3) 六八三七番 光づ問合せは同和號へ

富士町五丁目四

號

古孤町一丁目

下宿及貨間

常は、我が皇帝は、我が皇帝は、 能でも徹底してある。 一次になるのはめでたい、武元してあるのはめでたい、変生厚屋氏をピットたるに加へて本誌の、近來出色の出來を大野の歐米を語る座談會一立教工の配上、額見の一文學を製ふの記」其他中間記事、隨見の一文學を製した一最の一文學を製造の一文學を製造の一文學を製造の一文學を製造の一文學を表述してい、武武の一文學を表述している。

れ急ぎて、力も失

医してぬる。 にしてぬる。 はその親切さに

○ が公開されてありません。 ・ では、 ・ では

電話3二〇七九信祭舎文章立案、

第二年世代 一大 一社 一大 一社 一

堂製本所

帳簿專門 電話3三三三四番

サック・サザル事多

東三馬路線電臺下東三馬路線電臺下東三馬路線電臺下

あれる 本人を言 1.一條權語 九州堂療院 屋はれるない

タ

ブライタ即

6

認公 話習金融 州名其儘多額分 ○賢賞は老舗 なる常址へ!! 京土地建物會証 東一條通り四六 電る四人こと

1 春三七七五 (3) 関 五ノ三町船入京駅 株融金和昭



四、三〇經濟市

大連音樂學校見童 大連音樂學校見童 大連等等學校見童

ズコ 粒は、

まづ限にもあでやかな お話して見ませら。 お話して見ませら。 なことを て搾つた汁をかける るからなのです。また目出度 作用を持つ成分が含まれてゐ を破らない程度に柔軟にする の汁を噛みにく れは大根の酵素の中にはする事が出来ます。 夕 とした蛋白質の動物性機

新京より

村小初、

大江干鄉

サラリーマン〈低和金融電話(ミンベニ六七番船階 金融電話(ミンベニ六七番船階 金融電話(ミンベニ六七番船階

電(3)六二六七塚木、関度し中介部部

やはのら

小唄

3

に水に浸けて鹽出しますが、 これにはその水の中に食鹽を する事が出來ます。これは敷 の子に限らず べる十日前 三、〇〇 經濟市 ○○ 家庭講座(哈爾濱) 「大連・新京) 「大連・新京) 「大連・新京) 「大連・新京)」 「大連・新京)」 八連•新京)

るからなのです

敷の子

四、〇〇 二八日日 二、五〇 經濟市出 三、五〇 經濟市出 (東京●新京) 市況 (東京) (大連・新京) (大連・新京)

そうとふりむけぞえょにくらしい床のうゑ笑つてゐるちゃないかいな
古二二節分
一古二二節分
「はおぼろに白魚のかぶりもかすむ春のよるつめたい風もちょく、うかんであたかへる川端で竿のしねぐらにかへる川端で竿のしないのようないでありました。 ないた初島つねきないた初島つれるないた初島のそれとよれんかなりないでえょんくられるないであるができまれんがないであるがや お前といつしよにくらすならなやまの奥のわびすまひ笑のおびままひたいがせのかがすまひたのかないないかけるま細たにがはなっている。

竹は八幡 やはやはたの八幡さんの御神 たその行、どうぢゃいな、雪 がつもりてちらく、顔日さす がつもりでもりてもらく、顔日さす がつもりでもりでもりく。 一人が仲は二世もかはりやか はりやせぬ。

・ では、 できない。 では、 では、 では、 では、 できないは、 できないは、 できないは、 できない。 できな 蒼空にとど

一、夜毎街にまばゆい光 一、夜毎街にまばゆい光 に思出します別れの際に にないた片頬で笑ほとすれた片頬で笑ほとすれた 一、お胸痛みはせりだろか おりになった横顔を おりになった横顔を がはないた横顔を がはないた横顔を がはないだろかが にはとすれたが見に必えるが を付かげがほとすれど をがしていた横面を にがないた。 をがしてないた。 をがしてないが、 をがまるが、 をがなが、 をがながながなが、

G E

解II無解機 **慶辨今** 普六五礦

峰

に、今鳴る気笛は出船の合圖 無事で着いたら便をくり やれ やれ やれ で着いたら便をくり 今宵出船か、お名 **發**惜 長山長谷雄曲 長山長谷雄曲 たえねど、別れの小唄

第一次 中央 (2) 三四〇九

衆

☆金光教師●

金

8

和通り六五(金光教師向

し地とと田

著於近をし世點らの た 間もし均 ◇だて適論い界をれ支◇特一思て氏◇ 説とそ切じ認の置て那西大別へ一著一

三團七品 年會は特に

本書の大を明本の を以て、日本の地位 を関係を再心に、最近 を関係を再心に、最近 を関係を明れる。 を対象を関係し、新

貸事務室 與 計

事務ラ、中央通郷後局前 単 ピル ル 電 (3) 四九五八 高東

電話。四九三七へ一、各室六疊風呂付一、朝夕二食 一ヶ月四十圓五十圓六十圓 一ヶ月四十圓五十圓六十圓 高御下宿

質 ヤイル 医八二五 3 監督 医八二六 3 監督

各分型性

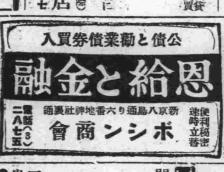
入船町三丁目二三 (東三條機論) 理料泉溢島

融 新座數之庭園

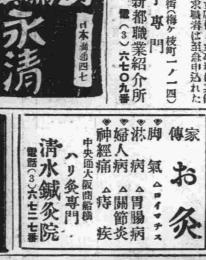
サラックに依る運動 ・ラックに依る運動

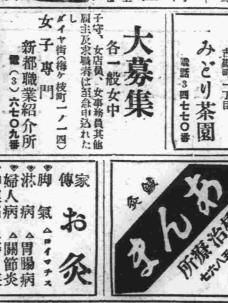
農産物脈袋の準備有

金融即時、長期、 金融即時、長期、 有價證券其他に付ても便利に 衛相談に題じます。 (3) 木二六七 電話と金融競











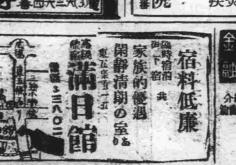




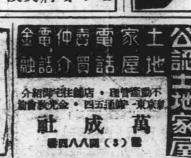
















(諷刺ふらに)

はすつかり不愉快な氣持に囚はれた。それは地獄からの陽はれた。それは地獄からの陽た。元の岐れ路に來ると先刻がに、元の岐れ路に來ると先刻が失事情を告げると、「ぢやアやつばり極樂へいきたまイ」キザばり極樂へいきたまイ」キザ

は

地を初詣

いてきたやうにも思はれてさいたのだった。が、なんといっなだった。が、なんといっながった。追ひ風のいった。追ひ風のとすればひとりでにするくってればひとりでにするくったすればひとりでにするくったすればひとりでにするとすべつていけるのである。 地獄へゆ 獄行きにふさはし

「さうか、ちァ文學を愛って方は前世があめで…?」になられ、おの文學を愛した徳でし極樂と間違って御出になられたのでは、これたのである。「いいしかしこうあつさり言はれたのでは、これたのである。「いいしかしこうあつさり言はれた。僕は地獄へ來たんです」とうやいのと、なんだか生前、地「では前世で思事をお働きにいると、なんだか生前、地「では前世で思事をお働きにいるさはしい思事を働なった憶えがおありで…?」 る人間だつたのかい、」「君の良心に毒 はたのでは……?」とうやれ や、僕は地獄へ來たんです」 では前世で思事をお働きに切なつた憶えがおありで…?」 帳を調べ始めた。「あの今村をれから片手に持つてゐた手とんさうな顔で僕の顏をみ、

と迄考へながら僕はあらゆる 美しさに陶酔しつ、地獄の入 口に荒いた。挟い入口を入ら うとすると立つてるた門衛が 飼ッ赤に熟した金棒を振り上 げて「なんて名前だッ!」今 村榮治といふ者ですーすると 言ふので煩惱もなく都合のい ム先生だと思ひながら、それ でもほつとして極樂への路を 歩いた。がこの道は地獄道と

マスクして繪風あずらいまれり、関境の客風あげのはじまれり、などないない。

して繪凧あげゐる娼婦かな

だしい沈澱の上に一歩一歩足をのせるのに程よく煉瓦みたいなものが置いてあつて、それには(智俗の掟)と書いてある。僕はこの掟さへふんで歩けば極樂へゆけるのだと、一歩一歩正しく暖んでいつた

む父娘かな

草經經

向スレパ銀二町祝

喫

お

菓子

(6) も思はれてきて、來た道を後 腰の上始めたのである。僕は 地獄へゆく時の阿幹さはすつ かり醒めてゐた。もうそり

○、大日本報 一十錢) 一十錢)

油國策論集(長谷川尙一 日の如く石油図

かにする

世で立たず興はず汚れずその上に個別を教し都を得し船で呼ばるとより漢くつけても器くがく脏域を優にして早くヨクなるけても器くがく脏域を優にして早くヨクなるけても器くがく脏域を優にして早くヨクなるがも野が、たいかで、一個一世級、一般であれ、即時公園、一般であれ、即時公園、一大田町道名と、「一大田町道名」といいます。 東京樂院 東京藥院 樂館が

子子の一個です。 学行 命

裸像一つ卓に寂しや御降りす かな 五 常 かな 五 常

庭燎や大門松の鎖もれる

話画この二四番

和洋樂器修理一式 眼鏡。双眼鏡は 中和知識病院眼科學院院眼科醫院院眼科醫院院 專門店清眼 御指定 大 丸 樂

OB 店

下水道の故障は

新京和泉町二丁目廿二

7 (市内学ポンド以上配達) 常夏の ヒーに明ける朝は明らかです 國に生 に終る夜は和 n 南 或 やかです 0 木村コーヒ店 京出張所





號六十二千五第

学大なるモニュメント にわれわれは滅魔映畵

本領たる建築の解説にはい から構築の標式、當時の政治 から構築の標式、當時の政治 横さるゝところは 関値について博士が第一に指

解説であつて親しみ深く讀ま を表し、由緒について機能され

とと、清朝が駒驤教を帝室の宗教としたといふ陽條にもとづいてゐる。として乾隆帝の場合等には漢民族以外の異民族を相手とする自由な氣分があり、そこに獨創が行体れたといふのである。 詳しくは本書そのものにゆ でについて説かれてゐる所も 大いに傾聴さるべきであらう 大いに傾聴さるべきであらう

意

廣告御用命は電話のご〇〇番へ

祝町三里子堂前

11946

(日)

ますが、この若素(わかもと)に ますが、この若素(わかもと)に は 前述のグルタチオンを 始め、 横と は 前述のグルタチオンを 始め、 横と いっぱ かんり こう かん は いっぱ かん かん とう に ますが、この若素(わかもと)に ますが、この若素(わかもと)に ますが、この若素(わかもと)に ますが、

www.というには、 を受いるでは、この薬は今日現場で最も多く用ひられて居ります。 この若薬(わかもと)は東京 この若薬(わかもと)は東京 一次会と育見の會(振替東京一七 茶養と育見の會(振替東京一七 大学者と育見の會(振替東京一七 大学者と育見の會(振替東京一七 大学者と育見の會(振替東京一七 大学者と育見の會(振替東京一七

曜

金)

姉から贈られた薬で

肋膜炎が軽快

(房島)

(わかもと) を服用する様になってから射砂が大戦に 大夫 になって『邪の流行を終のさ時、風邪ひとつひかずにる冬のさ時、風邪ひとつひかずに

に電力がなくなり、病的な盤質なので、これが少いと、各膜器なので、これが少いと、各膜器なので、これが少いと、各膜器をでしたりが、非常に大りをしたが少いと、各膜器をできる。

又同じく病的観質に、分泌異常 といふのがありますが、それは 機内のいろとへの腺や臓器から が必するホルモンが不足するの がありますが、それは といふのがありますが、それは といふのがありますが、それは

抵抗力を異へる無機が養素や、グスは消世級に

缺的 があるので、他へは

工業用と

陸海军御用

る場合が多いのであります。



就

たどその成分の祭養機といへば、ません。警査の発養機といへば、ません。警査の発養機といへば、ません。警査の発養機といへば、

病気や 向き 不向の 即加加 ある E

0

胃腸の働きを強

風邪ひき易い體質を

にする

にまで注意したものは発どありませんが若素(わかもと)は一定いた。 関葉として無疑されてゐるだけも で、野腸の働きを丈夫にする効ける。 果があります。 果があります。 だから、例へ特別の海電物を掛 だから、例へ特別の海電物を翻けて めながら、この薬を服み始めてか ら楽養がよくなり、身齢が触つて ら楽養がよくなり、身齢が触つて

を設定し難い場合がありますので、 を認定し難い場合がありますが をの原因は愛師でも場合によつて をの原因は愛師でも場合によつて をの原因は愛師でも場合によつて をあるがありますが その数で考素(わかもと)などで問題ひが少いのであります。 を養利を選べば適慮の範疇も聞く 多く含まれた

では造動作用のある総 骨格の形勢に必 要なカルシウム

話(2)

〇五番

新

京

路

六

朗な味! 0 泉

水道。修繕

が並に

給排水設備

工事は

(3)四三三

五番へ

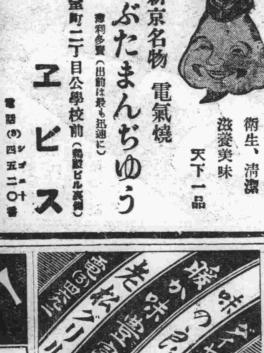
どかんば

りき

A







和京名物

電氣燒

養美味

豫和多賢(出動は最も迅速に)



疊



出前迅速



八陸春飯店



各

(街ヤイダ) 目丁一町樂永京新

一五五(3)雪



所



需應診往。



张三七五四 (3) 話電

0 御用は 絶對信用の出來る 鵜殿兄弟商會 電話公二四八二番 室町公學校前



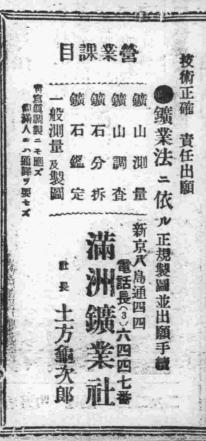
人科













八児科 医学士 院長 科科 河野五百里 ・六五三〇番

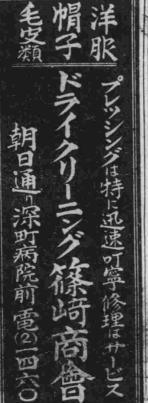
松

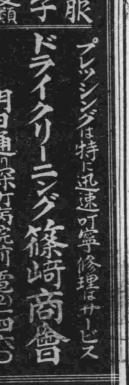
ĺΰĚ

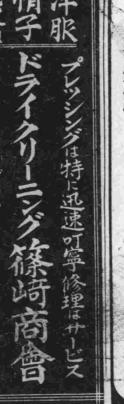
医学士

岩

东











出住しつまりはつまりはです、それではなるとだってもないのが、 でればなるとだってもないのが、 でればなるとだってもないのが、 でればなるとだってもなるとだってもなるとだってもない。

で行的か

てまた

中島 伊藤、福原は一番マークされたな、敵が伊藤、福原には最初からマークする。原には最初からマークする原には最初からマークする原には最初からマークする原には最初からマークする宗戦で出てきた。新洲の選手はばされたな、瀬州の選手はばされたな、瀬州の選手はがされる、前田なんか殊にでられる、前田なんか殊にでられる、前田なんか殊にさらだつたな、これからボディチアウトエッグで重心をとる練りを表表している。

れてゐないのです、手塚と いふ人がオリンピックにつ いるので、大體これ位の程度 だつたといふ感でやつてゐ をあです、前よりはずつと 選手の方でルール相違で の一番苦しんだのは何です。

(七)

味が多くなるが、試合は段が大等も大分荒くなるが、試合は段

製の水が究の をかっている。 の1 本の の1 本の が常の 会校は はなる。

年團後接會

役員決定

開催、出席者瀬川副園長、竹の第一回評議會は二十一日午の第一回評議會は二十一日午の第一回評議會は二十一日午

たが、市公署では市營住宅の

断ればかならず勝つ

一新京體育聯盟、本社主催

の縁起

氷

上部凱旋歡迎座談會

新 前田さん何か 前田 一番困まつたのはボディテエックでした、ドリブルで進んでいざシュートと 言ふ時轉ばされてしまふの ですから が、マークされたことは

下打合せ 事統一會議

十五日に開催し

諸行

水をとつて試験ン が二十一日判明し あると十九ヶ所中 が二十一日判明し がには出來のと 水には出來のと

座の不設備、 非戸側の不

き報告であ

- 八ケ所の報告。設備不完全。 衛生當局、 對策考究

入學希認者は百八十名、家庭名 (二十日現在)中上級學校名 (二十日現在)中上級學校

望が多

●京中四十五名●京商三十名●東島高女二十三名●京中四十五名●京南三十五名●大井十一名、女子十五名●大井十一名、女子十五名●大連工業一名●公主職農業學校三名●内地方面一名●家を三名●内地方面一名●家

上級校志

新京自動車株式會社

營業準備進む

車体の廢合、

案內所制度充實

院前一日本橋一新京驛一宮內府(下車)一種

態度はつき

大

場

所星

取

八島校でも

會長青木信市、副會長吉村山社會主事其他約三十名にて、政治の主種を協議の結果 最新型自動車を使用 馬夫の服装改良 三(白菊酴)換論時哉 (櫻 六時三十分頃閉會した (三笠膝) 松原莞爾 (八島 の諸氏を決定、今後積極的活寒儀、幹事 中村 吉右 衛門 木除)

朝來各重後總出で營業開始地自動車株式會社では二十一日的直動車株式會社では二十一日の

りメーター制としスタート 能を發揮し、料金は既報の通 能を發揮し、料金は既報の通

サ 能を競揮し、料金は既報の通 ・ カメーター制としスタート ・ ルを増す毎に十銭増の大衆的 を 大株主に減洲財界の大立者首 ・ 大株主に減洲財界の大立者首 ・ 大株主に減洲財界の大立者首 ・ 大株主に減洲財界の大立者首 ・ 大株主に減洲財界の大立者首

部州省超錫九(三十一)は二 中午後八時半頃親町路上で財 中午後八時半頃親町路上で財 中午後八時半頃親町路上で財

横領犯の良心

上 王男清鏡笠海桂太綾続綾射高金大 三二 女水 置光 刀 の 水 八中熊 錦川川岩山山川若若里川川登湊州 山海 場

チハル電氣工事事務員を野博 (二十八)=假名=

住診 电診 班婦預

左膊龜裂骨傷 北錦休場 類を窃取

新春と1もに入園児の募集は てゐる、なほ第一回募集は六 十名内外である

觀光協會、 今年の計畫協議

銭を引下げることになり、自に短縮、料金も從前一個五十に四時間を變したのが三時間 になった、亦遊覧馬車も優良 事)大興ビル(下車)―新ー興亜街―國都建設局(下

運宗支部建物を利

幼稚園開設か

収容難に鑑み満鐵で

も同意

なる中事務所の金百五十餘階 連と逃げ隠れて廻つたが犯し た罪の呵責に惱まされ生きた

派出所へ自首して出た

を與へるべく努めてゐる を與へるべく努めてゐる を與へるべく努めてゐる 東)大リ 東)大リ 東)大リ 東)一大リ 第京驛 中央通り 東)一財政部前一大同族 (下車)一長春六街一年 大同族子一月本橋-新京驛前 本院一日本橋-新京驛前 本院一日本橋-新京驛前 本院一日本橋-新京驛前 本院一日本橋-新京驛前 中央通り一里司合 本院一日本橋-新京驛前 中央通り一忠靈塔 中央通り一忠靈塔 中央通り一忠靈塔 中央通り一忠靈塔 中央通り一忠靈塔 が取締當局に對する手續も終 で取締當局に對する手續も終 が取締當局に對する手續も終 他の整備につとめてゐるが、 他の整備につとめてゐるが、 同社は來る二月一日營業開始 整備して列車義除客の新便を とともに合理的軍體の廢台を とともに合理的軍體の廢台を とともに合理的軍體の廢台を とともに合理的軍體の廢台を とともに合理的軍體の廢台を を とともに合理的軍體の廢台を を とともに合理的軍體の廢台を を とともに合理的軍體の廢台を を とともに合理的軍體の廢台を を とともに合理的軍體の廢台を を とともに合理的軍

- 車) - 南陽 - 大馬路 物院 - 代用官舍街 - 南 大同廣場 - 與仁大路 -上,一、以下,一、大同大 一、一、大同大 一、一、大同大 一、一、大同大

在京邦人三萬駿千を獲する國 ・ 学校入學適齢期前の小 ・ 学校入學適齢期前の小 ・ 学校入學適齢期前の小 收室小國 が減鍼としても右の如き現狀 を急 るるので、來る四月學事係とも相談を進めてゐる 觀られ、經王寺でも薦々や偏 響家相談役にも圖り幼稚園經 に鑑み大體麗意を表して出來

りまでに竣工せしむべく財務 殿堂も新築されたまゝ同支部坪の廣大な土地を買收し既に特別市興亜街外交部前に數萬 市内曙町二丁目經王寺でもかかり、幼稚園新田來ぬものが多く、幼稚園新 に日蓮宗滿洲總支部の敷地を 十名)の僅か二つで毎年入員

本社主催、

二月中旬期し

本年度更に増築計畫

舊國務院裏に十一月頃竣工

の市營住宅

設立は都合に

全新京かる

かるた大の

選手の餌合せであつ 本大會は云はば在新 本大會は云はば在新

の會に各所屬對抗試

はガッチリした健格と充分 中島 一寸大會におけるスピード審判の不備に對しては 質に残念であつた、一萬米 質に残念であつた、一萬米 であれ、オミット ではでいたが、オミット であたが、オミット であたが、オミット

前田 一同洪第 一同洪第 でました(洪笑、續く) 笑)

の箔とい

昨年醫大を破つたの タい

映畵観賞會の入場料中純益金月九日滿鐵俱樂部で攀行した 東京大相撲 署に寄附を申し出た

人後勝負左の如し 第七日目勝負

一山(おしだし)渡島 発風山(おしだし)渡島 発

時三四

北川 あまりはりきりは知られてはつなぎしてです、折れてはつなぎしてのです、折れてはつなぎしてのなぎしてのなぎしてのです。新門學校の宿舎に持ち歸へである中里君が温手の時のまにからに歸へつてる。中里君が出てはつなぎしてのです。近れてはつなぎしてのです。近れてはつなぎしてが出れてはつなぎしてがある。

ないつて敗けたこと が勝ちます が勝ちます 中野抗にははじめて 特つてるつ でも持つて行くのです へ一同洪笑) つたのでするかでする、大川さんスピーのためでする、大川さんスピームのです。

引き續いて唱歌、手工、體操が行はれた、なほ二十二日もが行はれた、なほ二十二日も 新京初等學校學用品研究會は 身、國語、算術、地理、歷史學校に委員三十五名集つて修 天理教映畵會の



人狗連の顔合せ 修練を積み明年あたり 者に限り場所其他は決定次第 學用品研究會 純益を寄附 **満州傳道應では去る一** る下準備で 不敵の泥的が推参した▼この 変流石敏腕の門脇さんも零の 変流石敏腕の門脇さんも零の も前後不覺の高新、賊は悠々 と物置きから一籍の林檎をう んとこさ擔ぎ出して逃走した この林檎が翌日の自分の誕生 ける思ひで犯人を詮索したが 天を戴かずの決心と草の根分 で、そこは職業科、倶に 門脇さんの執念や思ふべしやないか?と言ふ錯覺」… の門脇さんの立腹やうは大い物なんだ▼それと氣づいた。 調べてゐる か知ら はこいつが俺の林檎泥棒ぢ の筋の者の 時いつも頭に閃く

、自 費 五圓當日御持参 内澤三圓、宴會

目下盛業中なれど歸國の爲急讓り度

御問合せ電(2)二〇九七番へ

市内目拔の場所

飲食店譲る

フ・ナータ捜査股の

昭和十二年一月二十日 吉野町永樂町

東亞號藥

三圓也 (常日 持参の事) 一月三十日午後六時

朝日通廿五大隆公司內

新京淡城縣人會事務所

右者今度都合に依り圓滿退店致させ

店

片山芳太郎

上候致に付御繰合御出席成被下度御案內申

住所氏名職業左記へ御通知ありたし要に付住所に異動を生じたる會員並に新加入者は本籍追而御手數乍ら出欠左記へ御通知顧度倚名薄作成上必

左の通り定期總會及新年懇親會開発

111

茨城縣人會々員各位に謹い

解雇廣告

AND THE TAXABLE AND TA

の家と知っの家に去 を廣生 申候間~炎當店とは一切關係無之事

一、場所関際クラブ(財政部一、日時一月二十七日(水曜左の通り定期總會をかねて懲親書権服 根縣人會員に告ぐ 費 五圓當日御持参 内澤二 大田 (水曜) 午谷時 一月二十七日 (水曜) 午谷時 一月二十七日 (水曜) 午谷 一月二十七日(水曜)午後六時

廣告御用命は電話のヨヨ〇〇番へ

は電話 STATE OF THE PERSON NAMED IN は用 命 お

電話 本局(2)二八一 局線八本により各賣場へ接續いたします 一番へ

營業時間午前十時より午後六時まで お買物は書 間 に海線 上げま

MANAGES STATES STATES STATES STATES STATES STATES

三二五

希望の御方は左記へ御來談ありたし 解カフ 十六才以上 常盤旅館 内 工 國境

明朗第

うまい い料理と芳醇な銘酒

ざいませらぜ仲間の漁師もお前さ

るをたすけたと云ふので、幸ひ私

いふのも、是りや何かの因縁でご

はも「後い」からいつその事、無いなし子もなし強み者、年合

んな興風の既に私の船で助けたと

地の思い事をいはずに、

一段生でございます。そんな意

こな内側さんへ物は相談だがあ

廣告の御用命は

まい、マア、しばらく符つてゐな 々といっても行くものはあります は容易ならぬ事でねえだから、

場ならぬ事でねえだから、陰

へ、其内に人を見つけやずから

金を取ってくれば貴郎にも充分の

日や二百の金は直に持たして選は

扱い店田原屋五左衛門の内臓でご

十萬富限といはれる質物の

ん、實は手前は下野の宇都宮上河既で是は手前館みたくはありませ

一緒に難能しましたが、助かつた連れの者があつたのですが、突も

ではどうすることも出來ません。

『師尤もでございます、成型機

か死んだか分らず、とし助かつた一緒に難酷しましたが、助かつた

(八)

を奪ねるのに影向人形なのは金、一般肌に駆得されたかも知れませぬな離が肝寒るし、手前も心ざす人一階調なだけに戦極問題はかへつて 四家に仕へる女で穴腹をきつたもので、があればお手討となった、沙居瀬 の妖魔が食ひこんである。 の妖魔が食ひこんである。 を結んでしまひましたサア斯らな おらいへば趣時の進んだ今の時代 場次の耳に止める、かたん 大陸 るい離合の新聞におれのは、の最 た側合ひには直線問題は酸取だつ 自分の家に置いてはけんのんで塩 居は皆八郎さまの縁なのだ! 其上では又どうとでも出來る、目 うする事も出来ない、男性帯の家は脱だが、脈といってゐたではど を政めて、是が耳聴問といふ識で た不義はお家の御法度として、武 れ方便用も角も云ふなり次第にな か、吐魔で熊八お麓は側なき襲り をつぶつて様人に身を任せやうい し婦女子の讃み物としては女庭訓 といふ渡れたものはなかつた、面は 女の齎る物はあるじやなし、こ こんな野郎に身をまかせるの

電話3三三〇〇番

番五六八三③電 町枝ヶ梅街ヤイタ

うが、私たちは他間の奴と顧あつは性を失つてゐて知らなかつたら

らない

が現住の女でどざいます、目前の

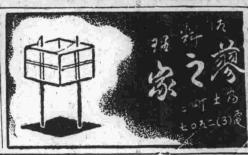
漁師馬人から以外な難論を特出さらきめたのでがすがね!

事でがしてねハ、、、、お前さん 手頭此女を女房にしてしまへとの 肝も見使いるからいつその形と

> 東京発音陽ビルー階 電3-2483

> > ~館





大經路民政部前





一旅三

内

大中小各種用器 燃

電話〇〇〇三七四八番 屋 目丁四町吉住京新 支 號



後

粒



心地の好 ッ子藝妓の御も









字社救療於









